

| OBインタビュー 株式会社自重堂



会社名：株式会社自重堂

所在地：広島県福山市新市町大字戸手16-2

創業：大正13年（1924年）9月14日

従業員：264名（2015年1月現在）

事業概要

ユニフォーム・メンズカジュアル・医療用白衣・セーフティスニーカーの企画製造・販売

ウェブサイトURL：<http://www.jichodo.co.jp/>

Q.日本へ留学した時のお話しについて教えてください。

2004年10月に渡日し、岡山にホームステイをしながら日本語学校で2年間勉強しました。ホームステイ先から通える範囲で進学先を考えました。

また、学費が安く奨学金も取りやすかったので福山平成大学を進学先に決め入学しました。

ホームステイ先からは1時間半ぐらい通学時間がかかるので大変でしたが、1.2年次に単位を順調に取れていたため4年間ホームステイ先から通学することができました。

Q.日本で就職活動について教えてください。

始めは、大学院に進学しようか、就職しようか迷っていましたが、3年生の時に大学のガイダンス等に参加しましたが本格的に就職活動を始めたのは、4年生になってからです。

就職活動は2つの方法で始めました。1つは、インターネットで大手ナビ会社を利用して岡山で開催される説明会等に参加しました。

もう1つは、大学のキャリアセンターを活用しキャリアセンターの職員に顔を覚えてもらえるくらい頻りに利用しました。

一番就職活動で苦労したのは面接です。面接で質問されたとき緊張と不慣れなことから頭が真っ白になり、うまく答えられませんでした。

エントリーは6社行い、そのうち2社は面接に進みましたが結局内定を獲得することはできませんでした。

その後、現在勤務している自重堂の秋採用を大学のキャリアセンターの先生から紹介されて採用試験を受け内定を頂きました。

Q.現在の仕事の内容を教えてください。

私が所属する海外事業部は、主に製品を生産する海外工場の生産管理や開拓を行っています。

現在は海外の工場は中国がメインですが、ミャンマー、カンボジア等の工場の展開をしています。

中国、ミャンマー、カンボジア等の海外工場とのやり取りは、全て基本は中国語でやり取りをしています。

ミャンマーやカンボジアも華僑が進出しているため中国語で商談を行う事も多いです。

また、海外工場の新規開拓も行っています。日本で展示会を行っているのですが、そこで候補となる縫製工場を探します。

その後中国の本社（ミャンマー、カンボジアに工場に投資している企業）を訪問し、具体的な交渉を行い、最終的に現地の工場見学を役員と同行し最終判断するという仕事を行っています。自分が選定した縫製工場と契約した時に達成感を感じます。

Q.キャリアビジョンについて教えてください。

短期的には、日本国内で品質が良く安い商品をお客様に提供できるように工場の新規開拓を頑張りたいと考えています。

日本の作業服（ユニフォーム）は日本の文化であり、中国・東南アジアなどではまだなじみがなく、中国や東南アジアでは、不要な汚い服で作業するのが普通です。

弊社は創業90年の歴史がありますので、このノウハウを中国で活用して日本の作業服という文化を中国にも共感してもらい中国にも展開していきたいと思っています。



株式会社自重堂
メンズ事業部 メンズ営業管理部 海外事業課
主任 譚文超さん（中国 山東省）
福山平成大学 経営情報学部 2010年3月卒業